

【協議事項】

路線バスの平成 26 年 12 月 15 日付け改正（案）等について

1. 目的

平成 27 年 3 月 14 日の北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道の開業に向け、二次交通として交流人口の拡大に寄与し、また市民の生活の足として、積極的な利便性の向上を図る。

2. 系統・ダイヤ等の改正期日と改正概要

目的を円滑に達するため、段階的に 3 回の改正を行う。

(1) 平成 26 年 12 月 15 日付け改正

- ・北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道開業の前に系統再編を行い、定着させる。
- ・平成 26 年 12 月 14 日に北陸新幹線開業 3 か月前カウントダウンイベントが開催され、糸魚川駅アルプス口広場のお披露目もあることから、糸魚川駅アルプス口バス停留所の新設のタイミングを考慮し、その翌日を改正日とする。
- ・施設や道路整備に伴い、停留所を新設する。
- ・市内外の方が検索しやすい停留所名に改正する。
- ・利用者ニーズに合わせ、フリー乗降区間を拡大する。

(2) 平成 27 年 3 月 14 日付け改正

- ・北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道の開業日に合わせ、鉄道との接続を考慮したダイヤ編成に特化した改正を行う。

(3) 平成 27 年 4 月 1 日付け改正

- ・市委託による「街めぐりバス」が平成 27 年 3 月末で終了することに伴い、糸魚川駅アルプス口とフォッサマグナミュージアムを結ぶ巡回系統を新設する。

3. 改正内容

(1) 平成 26 年 12 月 15 日付け改正

①系統の新設（9 系統）

【能生青海線】

○新設理由

北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道開業を見据え、起点を能生案内所から能生駅前に延伸することにより、鉄道との接続を改善し利便性の向上を図るもの。

○系統名 能生駅前～糸魚川総合病院～大沢

運行回数 1.5 回（3 便）

【仙納線】

○新設理由

北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道開業を見据え、起点を能生案内所から能生駅前に延伸することにより、鉄道との接続を改善し利便性の向上を図るもの。

○系統名 能生駅前～徳合崎～中村～仙納
運行回数 5.0 回（10 便）

【早川線】

○新設理由

- ・焼山温泉、笹倉温泉それぞれを起点もしくは終点とした系統の一部を両温泉経由とすることにより、観光客や温泉来訪者の利便性の向上を図る。
- ・中央大通りを経由する系統でさらに糸魚川駅アルプス口経由とすることにより、アルプス口利用者の利便性の向上を図る。
- ・全便を糸魚川総合病院経由とすることにより、わかりやすさや通院しやすさにおいて利便性の向上を図る。

○系統名 糸魚川駅日本海口～糸魚川総合病院～焼山温泉～笹倉温泉
運行回数 2.0 回（4 便）

○系統名 糸魚川駅日本海口～糸魚川総合病院～笹倉温泉～焼山温泉
運行回数 2.0 回（4 便）

○系統名 笹倉温泉～焼山温泉～中央大通り～糸魚川駅アルプス口～糸魚川駅日本海口
運行回数 1.0 回（2 便）

○系統名 焼山温泉～中央大通り～糸魚川駅アルプス口～糸魚川駅日本海口
運行回数 0.5 回（1 便）

○系統名 笹倉温泉～中央大通り～糸魚川駅アルプス口～糸魚川駅日本海口
運行回数 1.0 回（2 便）

【蓮台寺線】

○新設理由

主に糸魚川総合病院への通院や糸魚川高校への通学に利用される蓮台寺線を糸魚川駅アルプス口経由とすることにより、アルプス口利用者の利便性の向上を図る。

○系統名 糸魚川駅日本海口～糸魚川駅アルプス口～蓮台寺～糸魚川総合病院
運行回数 4.5 回（9 便）

【市街地巡回線】

○新設理由

糸魚川駅アルプス口経由とすることにより、アルプス口利用者の利便性の向上

を図る。

- 系統名 糸魚川駅日本海口～市街地巡回～糸魚川駅アルプス口～糸魚川駅日本海口
運行回数 3.5 回（7 便）

②系統の休止（9 系統）

【能生青海線】

○休止理由

起点を能生案内所から能生駅前に延伸する系統の新設に伴うもの。

- 系統名 能生案内所～糸魚川総合病院～大沢
運行回数 1.5 回（3 便）
○系統名 能生案内所～大沢
運行回数 2.5 回（5 便）

【仙納線】

○休止理由

起点を能生案内所から能生駅前に延伸する系統の新設に伴うもの。

- 系統名 能生案内所～徳合崎～中村～仙納
運行回数 5.0 回（10 便）

【早川線】

○休止理由

- ・焼山温泉、笹倉温泉それぞれを起点もしくは終点とした系統の一部を両温泉経由とする系統の新設に伴うもの。
- ・中央大通り及び糸魚川駅アルプス口経由とする系統の新設に伴うもの。
- ・全便を糸魚川総合病院経由とする系統の新設に伴うもの。

- 系統名 糸魚川駅前～笹倉温泉
運行回数 2.0 回（4 便）
○系統名 糸魚川駅前～焼山温泉
運行回数 3.0 回（6 便）
○系統名 焼山温泉～中央大通り～糸魚川駅前
運行回数 0.5 回（1 便）
○系統名 笹倉温泉～中央大通り～糸魚川駅前
運行回数 2.0 回（4 便）

【蓮台寺線】

○休止理由

糸魚川駅アルプス口経由とする系統の新設に伴うもの。

- 系統名 糸魚川駅日本海口～糸魚川駅アルプス口～蓮台寺～糸魚川総合病院
運行回数 5.5 回（11 便）

【市街地巡回線】

- 休止理由

糸魚川駅アルプス口経由とする系統の新設に伴うもの。

- 系統名 糸魚川駅前～市街地巡回～糸魚川駅前
運行回数 3.5 回（7 便）

③運行回数の変更（2 系統）

- 変更理由

以下の 2 路線での系統間調整によるもの。この路線の総便数に増減はない。

【能生青海線】

- 系統名 大沢～糸魚川駅前（糸魚川駅日本海口）～能生駅前
運行回数 0.5 回（1 便）→3.0 回（6 便）・・・2.5 回（5 便）増

【早川線】

- 系統名 糸魚川駅前（糸魚川駅日本海口）～糸魚川総合病院～焼山温泉
運行回数 2.5 回（5 便）→3.5 回（7 便）・・・1.0 回（2 便）増

④バス停留所の新設

- 新設及び名称変更理由

- ・糸魚川駅アルプス口及び糸魚川駅アルプス口広場の整備に伴い、停留所を新設することにより、アルプス口利用者の利便性の向上を図る。
- ・国道 148 号改良工事に伴い新設されたバスレーン等を活用し、停留所を新設することにより、周辺住民等の利便性の向上を図る。

- 新設（2 か所）

- ・糸魚川駅アルプス口
- ・姫川団地入口

⑤バス停留所の名称変更

- 変更理由

北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道開業に向け、市外からの来訪者がインターネット検索等しやすいよう、地名や公共施設、観光施設等とリンクした名称や実情に沿った名称に見直し変更することにより、利便性の向上を図る。

○名称変更（29 か所）

（現行）

（変更）

・糸魚川駅前	→	糸魚川駅日本海口
・市役所前	→	糸魚川市役所
・市役所入口	→	糸魚川市役所入口
・白嶺高校前	→	糸魚川白嶺高校北
・蓮台寺入口	→	蓮台寺入口（翡翠園）
・京ヶ峰二丁目	→	京ヶ峰二丁目（谷村美術館）
・東小学校前	→	糸魚川東小学校前
・大和川農協前	→	大和川小学校前

【早川線】

・東中学校前	→	糸魚川東中学校前
・農協支所前	→	新道
・新道	→	下早川小学校入口
・湯川内上	→	焼山温泉入口

【根知線】

・大野駅入口	→	頸城大野駅入口
・大野駅前	→	頸城大野駅前
・公民館前	→	大野地区公民館前
・ふれあいセンター前	→	小坂ふれあいセンター前
・根知公民館前	→	根知地区公民館前
・スキー場前	→	シーサイドバレースキー場前

【今井線】

・今井小学校前	→	糸魚川高等職業訓練校前
---------	---	-------------

【能生谷線】

・木浦公民館前	→	木浦地区公民館前
・桂橋	→	西能生地区公民館前
・保育園前	→	明福寺前
・槇公民館入口	→	槇中央
・会館前	→	神明橋
・作業所前	→	溝尾南
・筒石学校下	→	磯部小学校入口

【おうみ巡回線】

・高畑公民館前	→	高畑支館前
・名引公民館前	→	名引支館前
・青海病院前	→	至誠会・ふくがくちの里前

⑤フリー乗降区間の拡大

○拡大の理由

利用者や地区住民から要望があったため、道路交通法上、設定可能な区間においてフリー乗降を可能にすることにより、利便性の向上を図る。

○拡大区間

- 【根知線】 仁王堂～中村入口
栗山～大神道入口
山口～別所
- 【能生谷線】 鷲尾～山王橋
柱道～森本

(2) 平成27年3月14日付け改正

①ダイヤ改正

今後公表される北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道のダイヤを基に、鉄道との接続を考慮したダイヤ改正を行う。新幹線等ダイヤの公表期日は未定である。

なお、運行回数及び運行時刻の変更に関することは報告事項なので、参考情報とする。

(3) 平成27年4月1日付け改正

①系統の新設（1系統）

○新設理由

市委託による「街めぐりバス」が平成27年3月末で終了することに伴い、その機能を補完し、かつ市街地巡回線とリンクすることにより効率的な運行ができるよう系統を新設する。これにより観光客や「街めぐりバス」沿線住民の利便性向上を図る。

○系統名 糸魚川駅アルプス口～フォッサマグナミュージアム～糸魚川駅
アルプス口

運行回数 4.0回（8便）